

# 一般社団法人日本体力医学会定例理事会（2022年5月）議事録

日時：2022年5月20日（金）午後5時30分～7時15分

場所：ZoomによるWeb会議

議長：鈴木政登理事長

出席者：鈴木政登理事長、

碓井外幸、西平賀昭各副理事長、

武政 徹常務理事、

赤間高雄、井福裕俊、太田 真、大野 誠、

後藤勝正、小山勝弘、下光輝一、新開省二、

須田和裕、須永美歌子、竹森 重、田中喜代次、

中里浩一、永富良一、成田和穂、前田清司、

宮内 卓、宮川俊平、和気秀文各理事、

井上 茂、清田 寛、定本朋子各監事、

小橋 元第77回大会長、

松山郁夫第78回大会長、

山津幸司第78回大会事務局

欠席者：栗原 敏、浜岡隆文各理事、小林康孝監事

## 【審議事項】

### 1. 前回議事録の承認（鈴木理事長）

理事会終了時までに訂正等がなかった場合には、自動的に承認されることにした。

### 2. 令和4年度決算見込みについて（宮川財務委員長）

資料に基づき、令和4年度決算見込みについて報告された。収入70,686,196円は見込みであるが、予定通りの収入となれば、令和4年度決算見込の収支差額は、317,687円の赤字となる旨、説明された。

### 3. 令和5年度予算案について（宮川財務委員長）

資料に基づき、令和5年度予算案について報告された。令和5年度予算案の収支差額は、3,825,500円の赤字予定であるが、これは会費自動引き落としシステムの導入による初期費用等が含まれるための赤字である旨、説明があった。また、会費収入が想定より増えれば、赤字は縮小することが見込まれる旨、加えられた。

### 4. 令和5年度事業計画案について（鈴木理事長）

資料に基づき、令和5年度事業計画案についての報告があった。審議の結果、承認され、9月の社員総会に諮ることになった。

### 5. 第35回日本体力医学会賞選考委員会審議結果について（前田学会賞選考委員長）

資料に基づき、4月11日にZoomによるWeb会議での審議にて開催された学会賞選考委員会において、学会賞【体力科学】、学会賞【JPFMS】および【奨励賞】候補の3件を選考したことが報告され、承認された。

#### 【学会賞（体力科学）】

70巻-2号-②（体力科学）

永田康喜、藤井悠也、薛 載勲、門間貴史、大藏倫博  
地域在住高齢者の客観的評価による座位行動および強度別身体活動と認知機能の関連：Isotemporal Substitutionモデルを用いた検討

#### 【学会賞（JPFMS）】

10巻-3号-1

Jun Hamano, Takayuki Shimizu, Katsunori Tsuji, Wendy M Kohrt and Izumi Tabata

Effects of exhaustive high-intensity intermittent exercise on serum parathyroid hormone

#### 【奨励賞】

10巻-2号-5（JPFMS）

Akira Kyan, Shigeo Tanaka, Minoru Takakura, Timothy Olds, Natasha Schranz and Chiaki Tanaka  
Validity of Japanese version of a two-item 60-minute moderate-to-vigorous physical activity screening tool for compliance with WHO physical activity recommendations

尚、例年の年次学会大会時に“日本体力医学会学会賞受賞論文表彰および講演”が企画されているが、今年度の第77回（栃木）大会にて、前年度及び前々年度の受賞者を含め、各受賞者7分間枠での学会賞受賞論文表彰および講演を行うこととなった。また、学会賞選考委員会の委員から、学会賞の選考は、論文の他、業績も考慮すべきである旨、意見があったことが報告された。

## 6. その他

### 1) ヘルスケア社会実装基盤整備事業の件について（田中理事）

田中理事より、令和4年度AMED「予防・健康づくりの社会実装に向けた研究開発基盤整備事業（ヘルスケア社会実装基盤整備事業）」について、4月8日に当学会と他学会との意見交換会を行ったことが報告された。本プロジェクトについて検討したが、担当者の負担が多いことから、今回は当学会としての主となる申請を控えることが提案され、承認された。

### 2) 日本高血圧学会からの「デジタル技術の血圧低下作用に関する指針」作成におけるリエゾン委員の推薦について（鈴木理事長）

5月17日にメール連絡で募った、日本高血圧学会からの「デジタル技術の血圧低下作用に関する指針」作成における、当学会からの「リエゾン委員」の推薦依頼をしたところ、井上監事が本委員への担当を希望したい旨、連絡があった。審議の結果、当学会から井上監事を推薦することが承認された。

## 【報告事項】

### 1. 各種委員会報告

#### 1) 編集委員会（後藤編集委員長）

資料に基づき、以下の内容が報告された。

(1) 「JPFMS」誌、「体力科学」誌の投稿・掲載状況  
<投稿状況>(2021年9月1日～2022年4月25日)  
「JPFMS」誌：新規投稿47編

(内海外6編、特集号9編を含む)

※前年同期間：新規投稿32編（内海外6編）

4/25現在、審査中8編（採択17編、不採択21編、採択後掲載撤回1編）

「体力科学」誌：新規投稿34編（特集号5編含む）

※前年同期間：新規投稿32編

4/25現在、審査中8編（採択14編、不採択12編）

<発行予定>

「JPFSM」誌

○Vol. 11, No. 3（2022年5月25日発行）

掲載論文9編（特集号）

○Vol. 11, No. 4（2022年7月25日発行）

掲載論文7編

○Vol. 11, No. 5（2022年9月25日発行）

4/25現在、掲載論文1編

「体力科学」誌

○Vol. 71, No. 3（2022年6月1日発行）

掲載論文5編（特集号）

○Vol. 71, No. 4（2022年8月1日発行）

掲載論文6編

(2) 2022.3.24 J-STAGEプレプリントサーバ「Jxiv（ジェイカイブ）」運用開始。

4/1「体力科学」の投稿規定改定。

VI. プレプリント

本誌では、投稿前または投稿時に著者がプレプリントサーバ（JSTの運営するJxivのみ：<https://jxiv.jst.go.jp/index.php/jxiv>）へ原稿を投稿することを認める。この方針は、一次研究を記述した原稿の初版にのみ適用される。査読者のコメントを受けて修正された原稿、掲載受理（アクセプト）された原稿および本誌に掲載された原稿は、Jxivに投稿してはならない。Jxivに投稿した原稿を本誌へ投稿する際は、その旨を記載するとともにdoiを明記する必要がある。

また、Jxivに投稿した原稿が本誌に掲載された場合、著者はプレプリントを更新して本誌に掲載・公開された論文へのリンクを記載する必要がある。なお、Jxivに投稿された原稿の著作権は、著者が保持するものとする。なお本誌では、Jxivなどプレプリントサーバに掲載された原稿を引用文献に加えることは原則的に認めない。

(3) その他

・科学技術振興機構（JST）

「JSTが新たに立ち上げるプレプリントサーバ Jxiv説明会」（オンライン）2022年3月17日（木）

・科学技術振興機構（JST）

「J-STAGE Data説明会」（オンライン）

2022年4月20日（水）

2) 学術委員会

(1) スポーツ医学研修会委員会

（中里スポーツ医学研修会委員長）

新型コロナウイルス感染拡大により昨年度は中止したが、現在、各種学会大会が現地で開催していることから、来年度のスポーツ医学研修会は実施する旨、報告があった。

3) 渉外委員会（永富渉外委員長）

国内外における各大会の開催進捗状況が報告された。

4) 倫理委員会（成田倫理委員長）

演題応募における倫理的手続きについて、第77回（栃木）大会の一般演題の演者にアンケート調査を行う予定であることが報告された。

2. 第77回（栃木）大会の進捗状況（小橋第77回大会長）

資料に基づき、大会の準備状況について報告された。

会 期：2022年9月21日（水）～23日（金）

会 場：栃木県総合文化センター

また、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、現時点での参加登録者数及び演題登録数が、例年より減少していることから、赤字決算になる見込みであることが説明された。このことから、特別補助金として1,200万円の追加の要望があったが、従来から学会大会補助金予算を200万円としていることと、各理事・監事からの意見により、この特別補助金の追加は非承認となった。これについて、参加者と演題登録者を増やすため、学会員への一斉メールでの参加の呼びかけや、理事・監事から、参加のお願いの呼びかけをすることとなった。また、永富理事から、今後、感染症や災害等による影響で、大会の開催が危ぶまれる可能性を想定し、その対策案と危機管理を学会で考えていくことが提案された。

3. 第78回（佐賀）大会の進捗状況（松山第78回大会長）

松山大会長より挨拶がなされ、大会の準備状況について報告された。

4. その他

1) 日本体力医学会2023年東京シンポジウムについて（前田実行委員長）

前田実行委員長より、日本体力医学会2023年東京シンポジウムの進捗状況が報告された。

2) 会費自動引き落としシステムについて（事務局）

資料に基づき、会費の自動引き落としシステム導入の進捗状況と、学会員への案内文等を作成している旨、報告があった。